

しまねろうふく

2009.8
Vol.368



伝統 隠岐古典相撲

〈目次〉

特集「わたしの職場ふるさと自慢」…2

2009年度中央労福協主催全国研究集会開催…3

各地区労福協定期総会

地区労福協2009年度役員体制

中小企業退職金共済事業本部からのお知らせ…4～5

中国労働金庫第6回通常総会……6

第53回島根県労働者共済生活協同組合

通常総代会開催報告……………7

お知らせ……………8

特集

「わたしの職場 ふるさと自慢」



次回は 10月1日(木)発行です



町民との交流(ウルトラマラソン)

わが町・隠岐の島町は平成16年10月に島後にある4町村(西郷町・布施村・五箇村・都万村)が合併して誕生しました。私の職場である隠岐の島町役場は、旧西郷町役場を本庁、旧3村役場を支所として日々の業務を行っています。

合併以来、町で行われるイベントには町職員が率先してスタッフとして参加しています。今年6月21日に行われた第4回隠岐の島ウルトラマラソンでも、大会



趣向を凝らした応援(ウルトラマラソン)



町ぐるみの応援風景(ウルトラマラソン)

の数日前からたくさんの職員が準備や運営に関わっていました。そうした職員の努力だけでなく、島中の人が応援に来ているのではないかと、思うほどの沿道からの熱い声援やボランティアスタッフの励ましにより、参加者には特別に心に残る大会として好評をいただいています。

隠岐の伝統行事である「隠岐古典相撲」でも町職員の力は欠かせないものとなっています。隠岐古典相撲は夕方4時頃から始まり、次の日の昼頃まで約300人の力士が参加して徹夜で行われる相撲大会です。神事の一つとして行われる古典相撲には独特のしきたりがあり、大会開催は島を挙げての一大イベントとなります。平成18年7月、平成19年9月と2年続けて開催された古典相撲大会でも多数の町職員がスタッフとして参加し、陰の力となって大会を支えました。

ここで隠岐古典相撲についてご紹介します。隠岐古典相撲は、地区を挙げての祝い事がある時に行われ、祝い事のあった地区が「座元」、その他の地区が「寄方」に分かれて対戦します。最近では、平成19年に隠岐水産高校創立100周年を祝って開かれました。役力士は「小結」「関脇」「大関」で「横綱」の番付はありません。関脇・大関戦の勝者には土俵の四隅に建てられた「柱」が、小結戦の勝者には柱をつなぐ「貫」が与えられます。



役力士の凱旋の様子(第12回古典相撲大会)

古典相撲では同じ対戦相手が続けて2番取り、1番目に勝った者は2番目では相手に勝ちを譲ることになっています。これを「人情相撲」と言います。また、関脇・大関には一生に一度しかならず、ただ相撲が強いだけでなく人格も優れているとしてみんなから認められなければならないため、役力士に選ばれることは力士にとっても地区にとっても非常に名誉なこととなっています。地区の人たちは一体となって役力士を応援し、力士は大変なプレッシャーの中、その期待に応えるため大会の日まで精一杯精進します。



正三役大関の取組(第13回古典相撲大会)

そして決戦の日。大歓声の中で一生一度の大勝負を終えた力士は、お互いに相手の体を抱え上げて健闘を称え合い、その後は兄弟以上の付き合いを続けていきます。たかが相撲の勝負ではありますが、一つの勝負にはたくさんの人の思いが込められています。そして、そこにドラマが生まれ、見る人の感動を呼び起こします。

古典相撲などのイベントのスタッフは大変な仕事ではありますが、地域の人たちの笑顔と感動に出会うことができる素晴らしい仕事です。

種々雑感「しまねろうふく」投稿

感染が拡大するにつれて、政府の危機管理について批判が出ていますが、危機に対応するには、私たち市民も危機管理を意識した行動をとることが必要とあらためて感じているところです。

幸いに二次感染はないとのことですが、感染者が空港での検査、発熱相談センターへの連絡、一般の診療所ではなく発熱外来での受診のいずれかをしていたら二十九人の方への影響はなかったはず。

鳥取県では少し早い時期に感染が出ていますが、二例目の場合は空港の検疫で発熱が確認されたものの検査を断って帰国し、発熱相談センターにも連絡せず、直接に診療所で受診されたことから待合室にいた人を含め二十九人が外出自粛などをされたという。

鳥取県の最初の方は、発熱外来で診察を受け、濃厚接触者は一人であり、二次感染拡大の可能性は低いとされています。

七月一日、「島根県初の新型コロナウイルスエンザ」と新聞に掲載されました。この小文を書いている時点では県内では五人の感染が確認されているようですが、「しまねろうふく」に掲載されるころになっても五人であることとを願っているところです。



中国労働全庫島根県営業本部
本部長 遠藤 渡

インフルエンザ

『21世紀の労働者福祉運動のあり方と労働（雇用）を考える』テーマに

全国研究集会を開催

中央労福協

中央労福協は6月4日～5日、福岡市の「ソラリア西鉄ホテル」で2009年度全国研究集会を開催した。

報告 南木憲治（労金県営業本部）



早朝に松江を発ち、岡山からの新幹線では眠ってしまっていた。気が付くと既に小倉である。5年間過ごした頃とは比べ物にならないほど変わってしまっている。まだもうろうとしている頭に「ろうどうしゃー！がくせいー！しみんなさん！」…当時の集会で小さな拡声器が発した決まり文句がよみがえる。

当時の労働運動は常に市民の中にあったように思う。それから40年、中央労福協は結成60周年、連合は結成20周年を迎えた。研究集会には、全国から278名が参加し、特別講演やシンポジウムを行い、今後の課題や問題点・労働者福祉運動の進むべき方向性を確認した。もう一度労働運動が社会や、市民の中に息づくために。

「貸金業制度改正」「割賦販売法改正」「反貧困」とつながってきた運動は、労働者と消費者団体、法曹界、NPOなどの幅広い連携で進められ、大きな成果をあげてきた。そのような取り組みに参加してきた者として、昨年末から正月にかけて取り組まれた「年越し派遣村」で村長を務めたNPO法人自立生活サポートセンターもやい事務局長湯浅誠氏の発言に興味があった。

「戦後60年が過ぎ、歴史をもう一度ひも解き、創業の志を……、新しい時代の中でその精神を……、労福協運動も見直していくことが必要」と主催者代表（笹森会長）のあいさつで始まった。北海道大学宮本太郎教授は「労働を中心とした福祉型社会の展望」と題した特別講演の中で、ネットカフェ難民、貧困ビジネス、相対的貧困率の高まりなど、新自由主義（市場原理主義）が作り出した状況に、会社と家族に依存した日本型保障が対応できなくなったとして21世紀型福祉社会を作る必要を強調。人々を労働市場につなぐ多様なサービス（教育、家族ケア、職業訓練、医療）を提供することで参加を保障し、地域社会・経済に埋め込んでいく構想を提示し、協同セクターが積極的な役割を果たしていくよう期待を表明した。

その後、中央労福協会長笹森清氏、連合副事務局長山本幸司氏、労金協会副理事長鈴木英幸氏、全労済副理事長古川隆之氏をパネラーに、中央労福協事務局長高橋均氏がコーディネーターをつとめ、「労福協60周年と連合20周年を迎え今後の進むべき方針を考察」をテーマにシンポジウムが開催された。高橋氏から「節目に当たって、もう一度創業の理念・想いがどうであったかを振り返り、それが今、活かされているのかいないのか、いないとすれば何故か、どうしたらよいか」という問題提起があり、それぞれが思いを熱く語った。労金と会員の関係が「お客さん」と「業者」の関係に陥っているのではないかという指摘には心当たりなしとは言えない自分を見た。

2日目は湯浅誠氏から「いま“はたらく”が危ない 働くことが壊されている一派遣村から見た日本社会」と題する講演を受けた。あえて「活動家」を名のる彼は、NPO活動の現場から失業と同時に住まいも失う非正規労働の広がり、子どもの世代に拡大再生産されていく貧困の現実を直視し、その問題を社会的な問題としていく運動が紹介された。労働運動に対しても「ストライクゾーンを広げて欲しい」という表現で、幅広い運動の連携づくりに期待すると要望した。

その後、コメンテーターとして湯浅氏も加わり、NPOとの協同にも取り組む連合新潟会長江花和郎氏、中小労組からの相談に対応する連合熊本副事務局長岩本正也氏、他とのつながりを大切にした運動を展開するライフサポートセンターふくおかアドバイザー鎌田徹氏をパネラーに、「生活・労働・雇用・非正規問題を考える」をテーマにシンポジウムが行われた。コーディネーターは中央労福協高橋事務局長が担当し、激変する労働者を取り巻く環境に対して私たちにできることは何なのかについて討議を深めた。

研修会のまとめにあたり、中央労福協副会長植本眞砂子氏は、「60年を振り返り、明日から何をしたら良いかが共有できた。これからが労福協の出番だ。」と締めくくった。



ロビーで歓談する
笹森会長と湯浅氏

「地区労福協2009年度役員体制」

松江地区労働者福祉協議会

第33回総会 6.5(金)



会 長	大原 康史	松江市職員ユニオン	幹 事	井上 大輔	一畑電鉄労組
副 会 長	村上 正人	NTT労働組合松江分会	//	三島 剛	くにびき農協労働組合
//	景山 誠	PED労働組合松江支部	//	藤原 和彦	県職連合会支部
//	加田 章	全日通労組	//	森山 秀樹	中電プラント労働組合松江支部
事務局次長	梶川 義雅	連合島根	//	並河 幸司	中国電力ユニオン松江支部
事務局次長	浅津 寿広	中国労働金庫松江支店	//	立石 圭一	一畑電鉄労働組合
//	石原 淳	全労済東部支所	//	鎌田 修一	中国労働金庫松江支店
幹 事	岩谷 裕志	三菱農機労働組合	//	吉岡 満	全労済東部支所
//	建部 正光	中国電力ユニオン松江支部	会計監事	藤野 智之	中国労働金庫松江支店
//	周藤 英史	JP労組JP松江支部	//	片桐 朋子	全労済東部支所

安来地区労働者福祉協議会

第36回通常総会 6.11(木)



会 長	糸原 一志	安来市職員労組	幹 事	種田 一夫	安来市職員労組
副 会 長	石塚 博	日立金属労働組合安来支部	//	平井 雅	県職連合会松江支部
//	遠藤 志伸	安来製作所労組	//	吉村 修	ダイヤキコ労組
労金部長	大谷 宏	安来市職員労組	//	中原 哲也	守谷刃物研究所守谷会
労済部長	岩田 正人	安来製作所労組	//	矢田 雄司	フーズマーケットホック労働組合
さわかき部長	小原 正義	出雲造機労組	//	片桐 朋子	労済労組
事務局次長	田邊 光男	安来製作所労組	会計監事	野口 光雄	安来市関係団体職員労組
事務局次長	中島 徹	中国労働金庫安来支店	//	石原 和幸	中国労働金庫
幹 事	河村 匡宣	HMP労金会	労済理事	永島 修司	日立金属労働組合安来支部
//	松本 均	日立金属労働組合安来支部			

大田地区労働者福祉協議会

第35回総会 6.12(金)



会 長	飯田 徹	大田市職	常任幹事	古割 公二	県職連合会大田
副会長	岩谷 健一	石見銀山農協労組	//	桑野 尚宣	大田市職
事務局次長	高木 裕介	大田市職	//	岩崎 孝則	中電工大田
事務局次長	小原かおり	労金	//	岩谷 久徳	日ビス島根労組
常任幹事	三谷 雄喜	全農林石見	//	大原 健志	広島アルミ労組
//	杉谷 圭司	帝人コードレ労組	//	安達 利文	労金
//	伊藤 和雄	建交労	会計監査	金森 智裕	全労済
//	松田 哲也	私鉄石見大田	//	野津 礼子	大田市立病院労組
//	田中 政夫	JP石見	//	郷原つね子	恵和会労組

浜田地区労働者福祉協議会

第36回定期総会 6.26(金)



会 長	谷口 佳寿	浜田市職労	常任幹事	杉戸 健一	私鉄石見
副 会 長	岩田 学	JP労組石見支部	//	横山 宗孝	一般労西部支部
//	戸津川美二	浜田市職労	//	花本 正二	JR西労組
//	原 英二	私鉄石見	//	和泉 順子	西川病院労組
//	守長 浩	JP労組石見支部	//	若林 信	中電ユニオン三隅
事務局次長	角 敬	県職労浜田支部	//	高野 公祥	国労浜田
事務局次長	佐伯 裕子	全労済西部支所	//	佐々木 誠	ハイレックス
会 計	松本 敏和	中国労働金庫浜田支店	//	坂田 武志	キーパー三隅
常任幹事	藤原 篤史	県職連合会浜田支部	//	三島 好信	県職連合会浜田支部
//	細田 昭史	中電ユニオン浜田	//	皆尾 智幸	浜田市職労
//	山口 英和	浜田ハイヤー労組	会計監査	中村 護	中電工浜田
//	鍛冶富美男	中電工労働組合浜田分会	//	伊藤 明	ハイレックス

出雲地区労働者福祉協議会 2009年度定期総会 6.26(金)

会 長	広沢 寿志	JR西労組出雲支部	事務局次長	山村 良子	きんろう保育園	幹事	持田 明洋	全農しまね労組
副 会 長	清水 心悦	ヒラタ精機労働組合	幹事	大槻 昭雄	県職連合出雲支部	//	小池 巧	ヒラタ精機労働組合
//	鬼村 憲生	K B ツツキ労組出雲支部	//	曾田 和彦	ダイワボウ労組	//	安食 洋	鳥根県中酪労組
//	佐藤 恭治	JMS労働組合	//	内藤 洋	中電工労組出雲分会	//	山口 郁男	全日通労組出雲分会
//	板垣 晃	J P 労組出雲支部	//	小沢 巧	オムロン出雲労働組合	//	山崎 仁士	一畑電鉄労働組合鉄道支部
//	岩田 幸治	NTN製造労組	//	宮迫 嘉治	JR西労組出雲支部	//	錦織 靖	斐川町農協労組
事務局次長	日高 純二	出雲市職員労働組合	//	宇越 和弘	J P 労組出雲支部	//	宮本 肇	昭和K D E 河下労組
事務局次長	安達 利文	労金出雲支店	//	平野 和樹	ヒカワ精工労働組合	会計監査	山内 秀樹	労金出雲支部
//	門脇 大地	全労済出雲共済ショップ	//	杉山 賢一	全水道出雲支部	//	西尾 正之	ダイワボウ労組
//	鎌田 篤義	グリーンコープ生協	//	横野由美子	きんろう保育園職員会			

江津地区労働者福祉協議会 第35回定期総会 7.10(金)

会 長	野海 修二	日本製紙ケミカル労組	事務局次長	松本 敏和	労金江田支店	常任幹事	前木 裕人	全労済西部支所
副 会 長	岩竹 好夫	P E D 労組キャパシタ江津支部	常任幹事	中村 正弘	江津通産労組	//	畑中 秀幸	江津市職労
//	津島 正彦	江津市職労	//	島田 隆二	鳥居運送労組	会計監査	須山 英司	江津市職労
//	坂根 昌富	日本製紙ケミカル労組	//	山根 繁樹	久保田鉄工労組	//	兼行 正文	J P 労組石見
事務局次長	佐々木康雄	P E D 労組キャパシタ江津支部	//	宇津巻弘友	テイコク労働組合			

隠岐地区労働者福祉協議会 2009年定期総会 7.10(金)



会 長	平田 芳春	隠岐の島町職	会計監査	伊勢 宗高	農団労
副 会 長	和田 貴弘	隠岐の島町職	幹 事	山根 益夫	中電
//	塩尾 寿重	J P 労組	//	樽見 健一	J P 労組
//	松井 和正	農団労	//	名越 玲子	隠岐の島町職
//	西岡 博志	隠岐広域連合	//	赤田 宏行	隠岐広域連合
事務局次長	坂本 忠	隠岐の島町職	//	畑田 浩志	県職労
事務局次長	佐藤 智樹	隠岐の島町職	//	澤尾 洋明	中電工
会計監査	勝部 昇	県職労			

雲南地区労働者福祉協議会 第37回定期総会 7.10(金)



会 長	細木 勝	雲南市職	幹 事	栗原 庄司	鳥根三洋電機労組
副 会 長	大垣 照子	奥出雲町議会議員	//	横田 司	県職連合雲南支部
//	狩野 勇二	労金雲南支店	//	勝部 修二	三刀屋金属労組
//	小村 亮二	連合雲南地協	//	門脇 大地	全労済東部支所
事務局次長	菅田 和美	雲南市職	//	糸川 俊之	J P 出雲支部
事務局次長	錦織 由幸	雲南農労	//	深石 尚志	飯南町職
幹 事	杉原 孝治	労金部会長	//	川西 博司	労協協賛出雲支部
//	板持 周治	労済部会長	監 事	小村 正樹	労金雲南支店
//	妹尾 富徳	全労済理事	//	勝部 聖人	ゼンキンメタル労組
//	藤原 登	おが*電機労組鳥根支部			

退職金の確保は国の中退共制度で!!

国の掛金助成があります

- ★新規加入の事業主に対して、4ヶ月目から1年間、従業員ごとに掛金の1/2(上限は5,000円)を国がサポート
- ★掛金増額助成もあります

簡 単 管 理

- ★掛金は、簡単な口座振替
- ★従業員ごとの納付状況や退職金額は毎年事業主にお知らせいたします
- ★社外積立型なので、企業に運用のリスクはありません

有 利 な 特 典

- ★事務手数料、管理費等は一切不要です
- ★掛金は全額非課税です
- ★退職金の積立不足が発生しないため、追加拠出は不要です

適格退職年金制度からの移行先

- ★16,000社を超える適格退職年金事業主が中退共に移行しています
- ★適格退職年金契約における従業員持分額を全額を引渡金額とすることが出来ます
- ★移行の際事務手数料はいただきません

中退共制度は中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です



《お問い合わせ》

中退共制度は中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です

<http://chutai-kyo.taisyokukin.go.jp/>
〒105-8077 東京都港区芝公園1-7-6
TEL: 03-3436-0151 (代表) FAX: 03-3436-0400

くわしくはホームページで

中退共 検索

中国労働金庫第6回通常総会開催

2009年6月25日 リーガロイヤルホテル広島

日本労金設立に向けての合併準備委員会への参画を確認！
＝ 役員改選により、新体制スタート ＝

中国労働金庫の第6回通常総会が6月25日13時から、広島市のリーガロイヤルホテル広島で出席代議員215会員、委任会員2778会員で開催されました。

総会は、可会の築山理事（日新製鋼労働組合周南支部）の挨拶の後、堀谷理事（三菱レイヨン労働組合大竹支部）河村理事（中国電力労働組合）を議長団に指名し開会しました。

田中理事長が挨拶の中で、好決算ができたことに対して会員の協力へのお礼、全国合併準備委員会への参画議案の提出にかかわる説明、また、統合前に起こっていた旧山陰労働金庫における元職員不祥事件のお詫びを申し上げるとともに、今期をもって理事長を退任する旨を述べました。

つづいて、広島市長の代理として増川市民局次長、中国ブロック労福協連絡会の宮路会長、連合中国ブロック連絡会の伊丹代表幹事から、来賓を代表しての祝辞がありました。

全議案とも審議の後、いずれも全員賛成で承認されました。なお、第2号議案の2009年度事業計画の項で、「相談センター」のあり方に関して、2008年度の実態調査で出された現金の取り扱いについての意見にもとづき現在その対応策を検討しており、一定整理できた段階で該当地区に返しながら検討すること、また、日本労働金庫発足時に「相談センター」という名が消えないように準備委員会の中で積極的に意見を述べていく考えである旨の報告がありました。

第1号議案、第2号議案、第3号議案について、3名の代議員から5件の質問・意見・要望が述べられました。

新理事長に金尾氏が就任

任期満了に伴う役員改選では、田中理事長、春石副理事長、長廣専務理事を含む12名が退任し、改選後の理事会では次のような体制が確認されました。なお、島根県内関係者では遠藤瀬田営業本部長（常勤理事）、石塚博理事（日立金属安来支部）が再任され、梅津明則監事（自治労島根県本部）が退任し、近藤勝氏（自治労島根県本部）が新たに監事に就任しました。また新たに設けられた執行役員に古川信正経営統括部長が就任しました。

新役員（敬称略）

理 事 長	金尾 博行（新）	理 事	堀谷 俊志（再）	理 事	宇野 稔（新）
副 理 事 長	中嶋 光雄（新）	〃	石塚 博（再）	〃	網戸 茂（新）
専 務 理 事	卯山 郁朗（新）	〃	川中 武範（再）	〃	狩野 正良（新）
常 務 理 事	難波 俊太（再）	〃	脇本 昭彦（再）	〃	為末 和政（新）
常 勤 理 事	安長 章（再）	〃	小早川 健（再）	〃	河清 盛正（新）
〃	遠藤 渡（再）	〃	藤井 賢治（再）	代 表 監 事	大塚 克己（新）
〃	西城 洋一（再）	〃	小椋 昌美（新）	副代表監事	福本 康志（再）
〃	向井 高志（新）	〃	小野田義明（新）	常 勤 監 事	上野 豊明（新）
〃	長嶺 平治（新）	〃	水戸岡俊治（新）	監 事	清水 大助（新）
執行役員	古川 信正（新）	〃	高木 義朗（新）	〃	近藤 勝（新）



地域でがんばるNPOを応援してください。

普通預金口座からの自動引き落としとして、毎月100円からできるNPO応援です。
詳しくはもよりの支店にお問合せください。

（ろうきんNPO寄付システム）

R ろうきん

第33回全労済島根県本部

通常総代会開催報告

第53回島根県労働者共済生活協同組合

全労済島根県本部ならびに島根県労働者共済生活協同組合の通常総代会を、7月30日(木)13時より代議員総数120名のうち114名(内:委任20名)が出席し、松江市の労働会館大ホールにおいて開催しました。

議長に青木総代(自治労)、松本総代(日立金属労組)を選出し、来賓の矢倉連合会長・大崎県労協会長・岩原指定整備工場協議会会長よりご挨拶をいただいた後、以下のとおりの議案を討議しました。

【主な議案】

1. 第5期事業報告 ①2007年度・2008年度事業報告
②2008年度決算報告・監査報告
2. 活動計画 ①2009年度・2010年度活動計画
②2009年度予算
3. 役員選出(下記参照)

第33回全労済島根県本部 通常総代会
第53回島根県労働者共済生活協同組合



2009役員体制

理事長	浅沼 延夫	員外	//	藤井 昭見	益田 私鉄石見
専務理事	川辺 修	員外	//	福田 和男	全県 電力総連
理事	景山 誠	松江 電機連合	//	佐藤 伸廣	全県 U・Iゼンセン同盟
//	横山 紀文	松江 高教組	//	梅津 明則	全県 自治労
//	大原 康史	松江 自治労	//	福島 秀紀	全県 J P労組県協議会
//	和田 貴弘	隠岐 自治労	//	永島 修司	全県 日立労組
//	遠藤 志伸	安来 安来製作所労組	//	土井 正明	全県 交通労連
//	勝部 修二	雲南 三刀屋金属労組	//	細木 芳治	全県 J A M山陰
//	原 直史	出雲 J A M山陰	//	曾田 泰邦	地域選出
//	福田 仁	出雲 自動車総連	監事	田中 義夫	全県 運輸労連
//	大門 克典	大田 自治労	//	園山 雅敏	全県 U・Iゼンセン同盟
//	畑中 秀幸	江津 自治労	//	佐々木良二	全県 紙パ連合
//	岩田 学	浜田 連合島根	//	糸原 一志	全県 自治労

退任役員

理事	原田 圭介	松江 自治労
//	野津 浩一	隠岐 自治労
//	妹尾 富徳	雲南 全国一般
//	上西 宏	大田 自治労
//	坂根 広晃	江津 自治労
//	郷原 和弘	全県 J P能勢協会
監事	横田 一造	全県 自治労

活動計画では、2008年度の事業実績が期首割れとなった厳しい状況を踏まえ、協同組織と一層の連携をはかりながら、生協らしく組合員の満足度を最優先とした活動を展開することを確認しました。

また、新理事会を代表して浅沼理事長より「大変厳しい状況ではあるが、組合員視点に立ち、役職員一丸となって頑張りたい。各位の一層のご協力をお願いしたい。」との挨拶があり、盛会裡のうちに終了しました。

あたらしい全労済の理念

理念 みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり

信条 「組合員の全労済」 私たちは、組合員のくらしを何よりも大切にし、組合員の参加をひろげ、組合員とともに、歩み続けます。

「正直な全労済」 私たちは、正直さを大切にし、組合員や地域社会からの信頼に応え、社会の発展のために、行動し続けます。

「努力の全労済」 私たちは、たすけあいの心を大切にし、全労済にかかわるすべての人の満足に向け、努力し続けます。

＝ ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします ＝

ただいま

保障の無料点検相談実施中!

ぜひこの機会に、あなたも一度
保障を点検してみてください。

点検方法は全労済までご連絡ください。

全労済は、富利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

今すぐストップ！ あなたの借金 イエローカード 警告

消費者金融(サラ金等)からろうきんの
低い金利に借り換えてみませんか！

お金の
問題、
気づき
キャンペーン

これまできちんと返済しているのだから、私は大丈夫!と思っている方。高金利でもがんばって返済できているから平気だ!という方。気づいてください、それは大きな間違いなのです。

問題なく返済を続けているとはいえ、消費者金融(サラ金等)から借り入れしている場合、低利な融資に借り換えすれば返済金が減り、生活も楽になるでしょう。3社・150万円程度の借り入れなら、今すぐ労働組合・労金窓口にご相談ください。

労福協とは…



労福協シンボルマーク



労働者福祉協議会の略称。この協議会は労働者福祉活動を総合的に推進し、構成団体間における福祉活動の連絡調整を図るとともに、関係事業団体の育成と強化、並びに労働者福祉全般について啓発、教育、宣伝活動を行い、労働者福祉の推進を図ることを目的に活動する任意団体です。

しまねろうふく

2009.8
Vol.368

2009年8月1日発行 (1・3・4・6・8・10月発行)
編集/「しまねろうふく」編集部 発行責任者/神門 至
発行/島根県労働者福祉協議会 松江市御手船場町557-7
TEL 0852-23-3302 FAX 0852-23-3303

ホームページアドレス: <http://shimane.rofuku.net/> e-メール: rofuku@gaea.ocn.ne.jp